

知利別川ニュース

令和4年(2022年)6月 Vol.1
胆振総合振興局室蘭建設管理部

知利別川の川づくりについて説明しました！

室蘭建設管理部職員による河川改修の説明



室蘭工業大学大学院の学生による現地見学



2022年6月8日(水)、室蘭工業大学大学院1年生が受講する「土木環境系特論」において、室蘭建設管理部登別出張所の職員が、川沿いを歩きながら「知利別川の川づくり」について説明しました。

当日は、知利別川が昭和55年(1980年)8月豪雨により氾濫したことなどから、洪水による浸水被害を防止・軽減するために河川改修に着手したことを説明したほか、多自然川づくり(河川環境に配慮した川づくり)として「魚の移動路や魚道を整備」していること、護岸の上に現地発生土を被せて植生の早期回復を図ることで「景観や魚類の生息環境に配慮」していることなどを紹介しました。

また、当授業では学生の皆さんが「知利別川が多自然川づくり・かわまちづくり」に関する提案を行うとのことであり、そのための現地調査も行われました。河川改修前後の川幅や河床・河岸構成材料の違い、みお筋の形成状況、周辺の土地利用状況などを熱心に調査しておりました。

かわまちづくり等に関する意見を頂きました！

室蘭工業大学大学院の中津川教授より、「知利別川が多自然川づくり・かわまちづくり」に関する発表会(6月22日開催)にお招きいただき、多自然川づくりや、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す「かわまちづくり」についての提案を聴講しました。

発表スライドの一例

【多自然川づくりに関する主な提案】

- ・河川環境の創出を体験する学習会(生き物調査)
- ・河岸の傾斜を緩やかにすることで水辺アクセスを向上

【かわまちづくりに関する主な提案】

- ・橋や川のライトアップにより、地域住民や観光客が来なくなる“印象に残す”景観づくり
- ・河川のスペース(敷地)が少ないため、浮き桟橋を設置してスペースを生み出し、カフェなどを出店する
- ・景観が良くない護岸工(コンクリート法面)を利用して「プロジェクション・マッピング」イベントを開催

知利別川の現状と課題および対策

イベントが少ない

スペースが少ない

魚の生息

景観が良くない

今回のコンセプト
きれいな景観とイベントによって川に人を集めよう!

学生の皆様から頂いた提案について、関係機関とも協議・連携しながら、実現に向けて取り組みます！

問い合わせ先

胆振総合振興局室蘭建設管理部治水課

TEL (0143)24-9878 FAX (0143)23-4038